

会社概要 (平成22年9月30日現在)

| | |
|----------|---------------------------------|
| 商号 | デリカフーズ株式会社 |
| 英文社名 | DELICA FOODS CO.,LTD. |
| 設立 | 平成15年4月1日 |
| 資本金 | 759,755千円 |
| 従業員数(連結) | 200名(他、平均臨時雇用者数828名) |
| 本店所在地 | 〒121-0064 東京都足立区保木間二丁目29番15号 |
| 本社事務所 | 〒121-0073 東京都足立区六町四丁目12番12号 |
| 役員 | |
| 代表取締役 | 館本 勲武 |
| 常務取締役 | 小笠原 真清 |
| 常務取締役 | 杉 和也 |
| 取締役 | 大崎 善保 |
| 常勤監査役 | 澤田 清春 |
| 監査役 | 山口 隆 |
| 監査役 | 田中 清隆 |

株主メモ

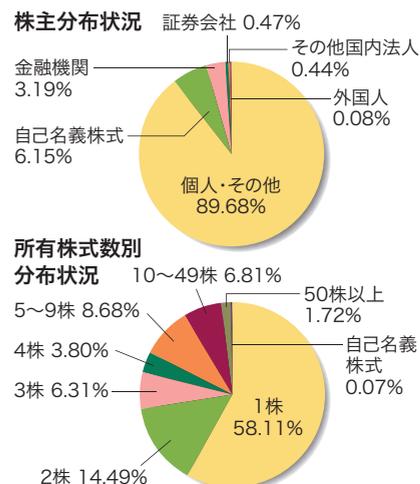
| | |
|------------------|---|
| 事業年度 | 4月1日～翌年3月31日 |
| 期末配当金受領 株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金受領 株主確定日 | 9月30日 |
| 定期株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711(通話料無料) |
| 同連絡先 | |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 |
| 公告の方法 | 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.delica.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。) |

〈ご注意〉

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機構(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式状況 (平成22年9月30日現在)

| | |
|-----------------|---------|
| 発行済株式総数 | 15,605株 |
| 株主総数 | 1,394名 |
| 大株主 | |
| 館本 勲武 | 3,272株 |
| 館本 篤志 | 2,598株 |
| デリカフーズ(株)(自己株式) | 960株 |
| 岡本 高宏 | 724株 |
| 従業員持株会 | 672株 |
| 岩崎 泰次 | 500株 |
| 鬼頭 利光 | 432株 |
| 野村 五郎 | 306株 |
| 岡田 和夫 | 261株 |
| 小笠原 真清 | 185株 |



このマークは株式会社ツバルの森が提供する太陽光発電によるグリーン電力証書の利用を証するものです。

〈グリーン電力証書とは〉
CO₂を排出しない自然エネルギーにより発電されたグリーン電力の環境付加価値を、証書として取引できるようにしたものがグリーン電力証書です。グリーン電力証書を購入する企業が支払う費用は、自然エネルギーの発電事業者へ還元されることで、日本国内における自然エネルギーの普及促進、CO₂排出削減に貢献することができます。

Investor Relations デリカレポート 第8期 中間事業報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日



デリカフーズ株式会社

東証2部 証券コード3392



業績の概況 平成22年4月1日～平成22年9月30日

当社グループは、経営環境が厳しい中、「新工場稼働に伴う売上拡大の実現」「営業力の強化」「計画的な仕入の実現」を着実に実践し、業績回復に尽力し、売上高は前年同四半期を上回る結果となりました。それぞれの取り組みの概要につきましては、4～9ページをご覧ください。



代表取締役社長
館本 勲武

株主の皆様へ

皆様におかれましては、平素よりデリカフーズグループへのご支援ならびにご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

2008年度下期から始まった世界的な景気低迷により、経済は依然として不透明な状況にあります。デリカフーズではこういった時期にこそ「日本の農業の発展」および「国民の健康増進」に貢献してゆくという企業理念に向かって邁進しながら経営成績、とくに収益率の向上に務めて参りたいと考えています。

そのために現在行っている当社の取り組みの一部をご紹介しますと、第一に挙げられますのが、本年6月に稼働いたしました「東京FSセンター」です。加工・物流・研究・営業・事務など全ての機能を集約し、業務の効率化と新たなサプライチェーンの構築、そして安定供給を実現いたしております。またトレーサビリティシステムの導入により、より安定した確かな品質の野菜を供給いたしております。

その他の取り組みとしましては、長年にわたって研究をおこなっております「野菜の中身評価」、生産者と実需者を繋ぐ「Farm to Wellness倶楽部」、外食・中食産業向けのセミナーや勉強会「野菜塾」、消費者との接点である「野菜マルシェ」(市場)や「ベジマルシェ」(アンテナショップ)などが挙げられます。これらをすべて営業の強みにしてゆくとともに収益率の向上へと結びつくよう務めております。

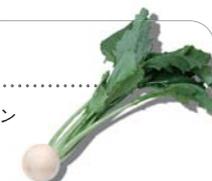
今後も、仕入・加工・物流をワンストップで行う青果卸売業のリーディングカンパニーとして、株主の皆様のご期待に沿えるよう努力して参りますので、株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



旬の カレンダー

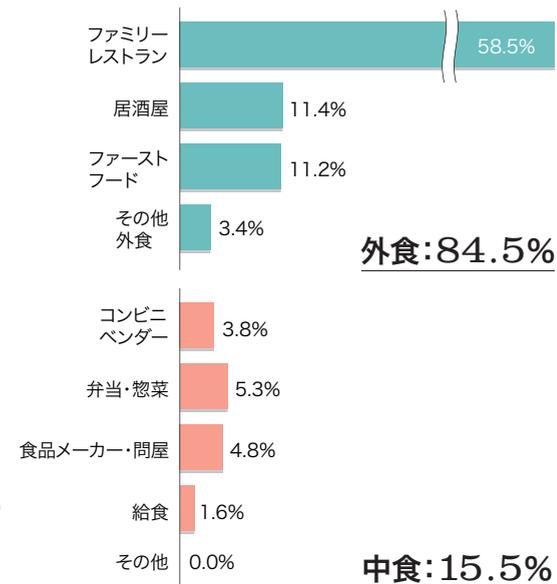
12月のおいしい野菜:かぶ

実は根よりも葉の方に鉄、カルシウム、ビタミンなどが多く含まれているため、葉は捨てずに調理して召し上がってください。



| | |
|--------|----------------------------|
| 売上高 | 9,769百万円 (前年同四半期比4.4%増) |
| 営業利益 | 90百万円 (前年同四半期比63.4%減) |
| 経常利益 | 74百万円 (前年同四半期比68.1%減) |
| 四半期純利益 | 37百万円 (前年同四半期比72.2%減) |

業態別構成比

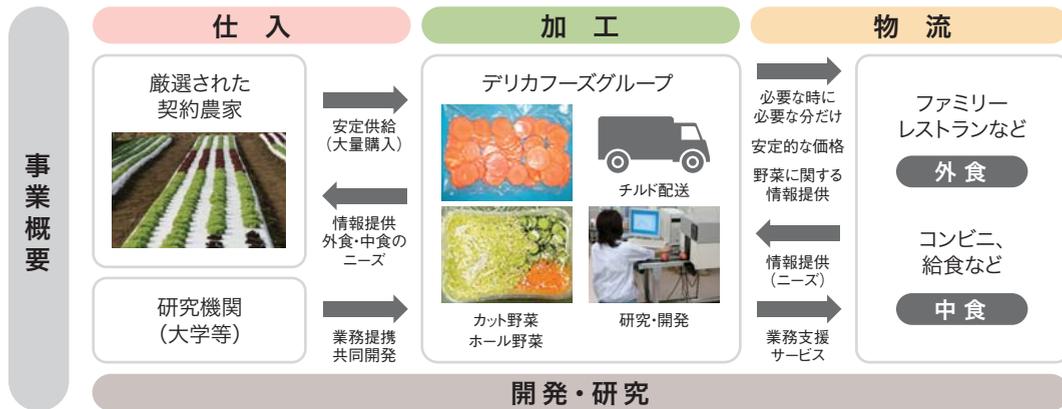


業販向け野菜の仕入・加工・物流・研究を
ワンストップで行う企業。それがデリカフーズ。



生産からお届けまで。
野菜作りに欠かせないのは、
二つの視点です。

仕入・加工・物流をワンストップで行う青果卸売業として、トレーサビリティのとれた新鮮な野菜を外食・中食のお客様に届けています。野菜を中心に生産地から消費者までの食をコーディネートできる企業として、「日本の農業の発展」および「国民の健康増進」に貢献していきたいと考えています。



野菜を「形」ではなく「中身」で評価。



10年間にわたる膨大な野菜の中身データの蓄積。その答えは「おいしいは体にいい」。

たとえば私たちの健康に欠かすことができない老化や病気に抵抗する「抗酸化力」。野菜が持つこの力を測定、成分分析し、野菜の付加価値としてご提供しています。また、従来の検査法では、野菜をジュースにするなどして「破壊」しなければ、その美味しさや成分量、機能性はわかりませんでした。デリカフーズでは、野菜に傷をつけることなく、中身成分を測定できる機械の開発にも取り組んでいます。



分析データの蓄積は付加価値野菜を生み出すだけでなく、野菜ごとの季節による成分値変化を元にしたメニュー提案にもつなげています。

旬の
カレンダー

1月のおいしい野菜:ほうれんそう

鉄分と葉酸(ようさん)がふくまれているので、貧血防止に効果があります。





「野菜の中身評価」～抗酸化力の高い野菜を提供するために～

高品質な野菜を運ぶ
最適化された加工と物流

東京FSセンター

優れた仕分け設備と在庫をもたない24時間受発注システムで
・食材コストの削減 ・戦略的な食材調達の実現
・鮮度、品質の向上 ・購買業務の作業低減
などをご提供。お客様にとって最適なサプライチェーンを支援いたします。



契約産地(農家)との
高品質な野菜作り

Farm to Wellness倶楽部

生産者の方と外食・中食のお客様をつなぐ
「野菜塾」・セミナー・展示会
蓄積したデータを活用して外食・中食のお
客様に消費者へのアプローチをご提案



医食農工への啓蒙活動と
消費者へのアプローチ

新商品開発

焼き目つき野菜、ペースト商品など
付加価値野菜の販売「マルシェ」
抗酸化力を付加価値とした野菜販売



最新の情報提供から社会貢献まで多様な取り組みを実施。

東京FSセンター設立&
本社移転(6月)

東京FSセンター設立に伴い、足立区保木間から足立区六町に本社を移転。

野菜からユニフォームが
誕生(8月)

「IRフォーラム2010東京」に
出展(8月) (主催:株式会社ツバルの森)

個人投資家の皆様に企業の成長、社会貢献や環境への取り組み等について理解を深めていただくフォーラムに出展し、定員100名を超える方々にお集まりいただきました。



4月

5月

6月

7月

8月

9月



Webサイトリニューアル(6月)

IR情報の見え方を中心にリニューアルをしました。特に、株主の皆様へ最新のIR資料を素早く閲覧していただけるように工夫しました。

一般の方向け「野菜のセミナー」
スタート(8月)

1回あたり10人までの少人数制(予約制)。「野菜が持つチカラ」や「健康に関する情報」をゆったりとした空間の中でお聞きいただけます。また、ご参加くださった皆様には珍しい野菜や果物もご試食いただけます。その他、お食事メニュークリニックや健康に関するご相談も随時お受けいたします。お問い合わせ/ベジマルシェ 03-6277-6474

旬の
カレンダー

2月のおいしい野菜:だいこん

ビタミンCやジアスターゼというでんぷんやたんぱく質を消化する酵素が含まれていて、食べ物の消化を助けてくれます。



3月のおいしい野菜:セロリ

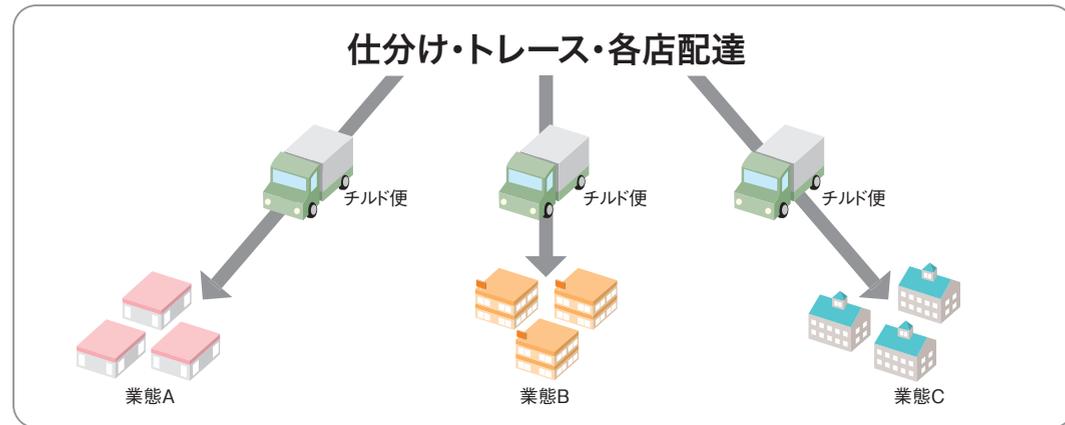
原産地は地中海沿岸。別名オランダミツバともいいます。日本では、第二次世界大戦後、普及しました。





すべては安心・安全・おいしいのために

6月から東京FSセンターが稼働。コスト・数量・品質などの安定供給を実現し、野菜流通を改革するために、加工・物流・研究から営業・事務にいたるまで、すべてを集約しました。さらに安心して安全、そしておいしい青果物を消費者のみなさまにお届けしていきます。



おいしい野菜は体にいいを実感 マルシェ&アンテナショップ(野菜販売)



毎週土曜日(10:00~14:00)、六本木アークヒルズ・カラヤン広場で開かれる「ヒルズマルシェ」に出店。抗酸化力の説明にお客様も納得。やっぱり、食べるならおいしくて体にいい野菜ですね。



「料理を作るために野菜を買う」ではなく、「おいしい野菜が手に入ったからおいしく食べられる料理を作る」を提案しています。おいしい食べ方やどんな味わいがあるのか、スタッフが丁寧にお伝えしています。



[ショップデータ] ベジマルシェ アークヒルズ店 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-32アーク森ビル2F 営業時間/10:00~20:00 定休日/なし TEL&FAX/03-6277-6474

野菜残さへの新しい取り組み 野菜からユニフォームが誕生

「新たな取り組みとして、野菜の残さを衣料に転換する試みを行っています。2010年6月、蝶理株式会社とのコラボレーションによる「カット野菜残さ」を色素に使用したTシャツを実現。13種類(きゅうり・レッドキャベツ・ねぎ・人参・ごぼう等)の野菜を使った色とりどりのTシャツが展示されました。その後実用化を進め、ショップスタッフのユニフォームとして商品化されました。今後も野菜から布への展開を進めていく予定です。



旬の
カレンダー

4月のおいしい野菜:イチゴ

レモンをはるかに上回るビタミンCが含まれています。お肌のためにも風邪の予防にも、積極的に摂りたい食べ物です。



5月のおいしい野菜:キャベツ

食物繊維のほかに特徴的な栄養素はビタミンU。胃壁の粘膜を丈夫にします。ずっしりと重いものを選んで召し上がってください。





四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| 科目 | 第8期 | 第7期 |
|---------------|------------------------------|-------------------------|
| | 第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 連結会計年度末 (平成22年3月31日) |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 1 現金及び預金 | 2,225,395 | 2,448,830 |
| 売掛金 | 1,971,140 | 1,846,527 |
| 商品及び製品 | 59,262 | 46,039 |
| 仕掛品 | 1,286 | 1,345 |
| 原材料及び貯蔵品 | 24,909 | 19,229 |
| その他 | 176,865 | 132,836 |
| 貸倒引当金 | △9,275 | △9,550 |
| 流動資産合計 | 4,449,583 | 4,485,258 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 2 建物及び構築物(純額) | 1,639,525 | 1,177,128 |
| 土地 | 2,534,861 | 2,534,861 |
| その他(純額) | 490,972 | 575,232 |
| 有形固定資産合計 | 4,665,359 | 4,287,222 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 39,353 | 31,097 |
| 無形固定資産合計 | 39,353 | 31,097 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 370,606 | 365,694 |
| 貸倒引当金 | △27,440 | △17,697 |
| 投資その他の資産合計 | 343,165 | 347,997 |
| 固定資産合計 | 5,047,879 | 4,666,317 |
| 資産合計 | 9,497,463 | 9,151,576 |

1 現金及び預金

前期末と比べ、223百万円減少しております。主な減少要因は固定資産の購入及び配当金の支払いによるものです。

2 建物及び構築物

新工場新設稼働に伴い、前期末と比べ462百万円増加しております。

旬の カレンダー

6月のおいしい野菜:きゅうり

90%以上が水分であるため、おいしく水分補給ができます。利尿作用や食欲増進のためにも積極的に摂りたい野菜です。



7月のおいしい野菜:かぼちゃ

皮膚や粘膜を健康に保つβカロチンが含まれています。皮やわたの部分に多く含まれるので一緒に調理するのがオススメです。



(単位:千円)

| 科目 | 第8期 | 第7期 |
|-------------------|------------------------------|-------------------------|
| | 第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 連結会計年度末 (平成22年3月31日) |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,132,686 | 1,056,629 |
| 短期借入金 | 403,336 | 383,068 |
| 3 1年内返済予定の長期借入金 | 302,773 | 235,412 |
| 未払法人税等 | 44,341 | 59,453 |
| 未払金 | 519,013 | 537,252 |
| 賞与引当金 | — | 53,936 |
| 工場閉鎖費用引当金 | — | 27,205 |
| その他 | 79,819 | 61,549 |
| 流動負債合計 | 2,481,970 | 2,414,507 |
| 固定負債 | | |
| 4 長期借入金 | 2,833,416 | 2,549,605 |
| 退職給付引当金 | 41,692 | 46,840 |
| 資産除去債務 | 5,731 | — |
| その他 | 124,546 | 88,815 |
| 固定負債合計 | 3,005,387 | 2,685,261 |
| 負債合計 | 5,487,357 | 5,099,769 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 759,755 | 759,755 |
| 資本剰余金 | 1,591,242 | 1,591,242 |
| 利益剰余金 | 1,846,902 | 1,882,609 |
| 自己株式 | △174,508 | △174,508 |
| 株主資本合計 | 4,023,392 | 4,059,099 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △13,286 | △7,292 |
| 評価・換算差額等合計 | △13,286 | △7,292 |
| 純資産合計 | 4,010,105 | 4,051,806 |
| 負債純資産合計 | 9,497,463 | 9,151,576 |

3 1年内返済予定の長期借入金 4 長期借入金

新工場新設稼働により、新たな借入を行い、前期末と比べ、351百万円増加しております。

四半期連結損益計算書

(単位:千円)

| 科目 | 第8期 | 第7期 |
|---------------------|--|--|
| | 第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 第2四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) |
| 4 売上高 | 9,769,936 | 9,359,970 |
| 5 売上原価 | 7,404,943 | 6,936,113 |
| 売上総利益 | 2,364,993 | 2,423,856 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,274,831 | 2,177,724 |
| 営業利益 | 90,162 | 246,131 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 866 | 1,145 |
| 受取配当金 | 1,166 | 845 |
| 自動販売機収入 | — | 825 |
| 業務受託手数料 | 3,087 | 3,870 |
| その他 | 5,138 | 2,704 |
| 営業外収益合計 | 10,259 | 9,391 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 25,732 | 21,601 |
| 営業外費用合計 | 25,732 | 21,601 |
| 経常利益 | 74,689 | 233,921 |
| 特別利益 | | |
| 6 補助金収入 | 452,455 | — |
| その他 | 4,620 | — |
| 特別利益合計 | 457,075 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 152 |
| 固定資産除却損 | — | 199 |
| 固定資産圧縮損 | 452,364 | — |
| 役員慶弔金 | — | 2,000 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 5,731 | — |
| その他 | 10,476 | — |
| 特別損失合計 | 468,572 | 2,352 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 63,191 | 231,569 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 25,673 | 96,740 |
| 法人税等合計 | 25,673 | 96,740 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 37,518 | — |
| 四半期純利益 | 37,518 | 134,828 |

4 売上高

新工場の稼働に伴い売上が拡大し、前年同四半期比で4.4%増加しました。

5 売上原価

6月後半からの記録的猛暑の影響による野菜価格の高騰により、商品仕入高、製造原価が増加したことにより、前年同四半期比で6.8%増加しました。

6 補助金収入

新工場建設に伴う建物及びその他機械一式の固定資産取得に対する農林水産省からの補助金などにより、452百万円を計上しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| 科目 | 第8期 | 第7期 |
|-------------------------|--|--|
| | 第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 第2四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 63,191 | 231,569 |
| 減価償却費 | 121,154 | 91,709 |
| 引当金の増減額(△は減少) | △76,820 | 11,845 |
| 補助金収入 | △452,455 | — |
| 固定資産圧縮損 | 452,364 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △134,356 | △2,117 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △18,844 | △8,473 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 76,057 | △45,830 |
| その他 | 47,831 | 15,985 |
| 小計 | 78,123 | 294,689 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,765 | 1,510 |
| 補助金の受取額 | 452,455 | — |
| 利息の支払額 | △26,011 | △21,726 |
| 法人税等の支払額 | △48,786 | △138,130 |
| 7 営業活動によるキャッシュ・フロー | 457,546 | 136,342 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △41,137 | △50,253 |
| 定期預金の払戻による収入 | 60,914 | 60,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △938,532 | △50,797 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △12,797 | △2,743 |
| その他 | △11,068 | △9,963 |
| 8 投資活動によるキャッシュ・フロー | △942,621 | △53,757 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 20,268 | △31,680 |
| 長期借入れによる収入 | 480,000 | 255,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △128,828 | △255,566 |
| リース債務の返済による支出 | △17,526 | △14,349 |
| 配当金の支払額 | △72,841 | △73,072 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 281,072 | △119,667 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 344 | — |
| 9 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △203,658 | △37,083 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,844,184 | 1,350,284 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,640,525 | 1,313,201 |

7 営業活動によるキャッシュ・フロー

主な収入は、補助金の受取額452百万円であります。

8 投資活動によるキャッシュ・フロー

主な収入は、定期預金の払戻による収入60百万円であります。主な支出は、有形固定資産の取得による支出938百万円であります。

9 現金及び現金同等物の増減額

前期末と比べ、203百万円減少しました。